

↑Fax:042-333-8477

# 「環境・社会報告書2010」アンケートのお願い

最後までお読みいただき、ありがとうございました。本年度も、東京エレクトロングループの環境・安全・社会面の取り組みについてご理解いただくことに努めました。

今後の取り組みや経営に反映していくために、皆様の忌憚のないご意見、ご感想、お気づきの点などをお書き添えの上、Faxにてご返送いただければ幸いです。

2011年3月末までにアンケートをご返送いただいた方に、もれなくエコバッグを差し上げます。



2010年9月

東京エレクトロン(株)環境安全推進センター

## Q1 環境・社会報告書2010はいかがでしたか？

- 〈わかりやすさ〉  大変わかりやすい  わかりやすい  普通  ややわかりにくい  わかりにくい  
〈情報量〉  大変充実している  充実している  普通  やや物足りない  物足りない

## Q2 当社グループの環境・安全・社会活動をどう評価されましたか？

- かなり評価できる  評価できる  普通  あまり評価できない  評価できない

## Q3 印象に残った記事はどれですか？(いくつでも可)

- 会社概要/編集方針  基本理念/TELバリュー  
 トップコミットメント

- Highlight**  社内座談会 ～フィールドソリューション事業の可能性～  
 低炭素社会の実現に向けて

- Management Report**  コーポレート・ガバナンス  コンプライアンス

- EHS Report**  EHSマネジメント  製品における環境への取り組み  
 事業所における環境への取り組み  健康・安全への取り組み

- Social Report**  お客さま・取引先とのかかわり  株主・投資家の皆さまとのかかわり  
 社員とのかかわり  社会とのコミュニケーション(企業市民活動)  
 第三者所見  東京エレクトロンのあゆみ

## Q4 ご意見、ご感想、ご要望、ご提案などをお書きください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## Q5 この報告書はどのような立場でお読みになりましたか？

- お客さま  お取引先  株主・投資家  企業・団体の環境ご担当  
 NGO/NPO  研究・教育機関  学生  報道機関  
 行政機関  東京エレクトロンの事業所近隣にお住まいの方  その他 ( )

## おさしつかえのない範囲でご記入ください。

お名前 性別  男性  女性 年齢

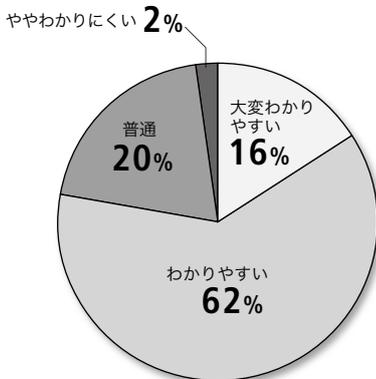
ご住所 〒 電話

※お寄せいただいたご意見・ご感想を次回の報告書に掲載させていただく場合がございます。個人情報保護に関しましては、漏えいや滅失などがないよう適切な管理を行い、年齢・性別・職業による分析などに利用させていただきます。なお、ご送付いただいた個人情報の修正や変更・削除を希望される場合は東京エレクトロン(株)環境安全推進センターまでご連絡くださいますようお願いいたします。

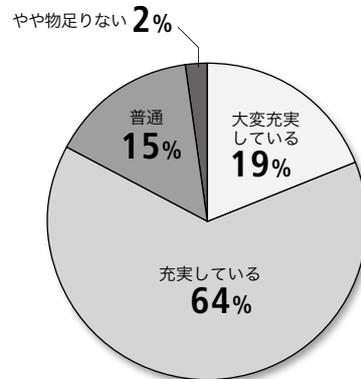
# 「環境・社会報告書2009」アンケート集計結果

2009年9月に発行した「環境・社会報告書 2009」では、社員向けにイントラネットを用いたアンケートを実施しました。また外部からもたくさんのご意見をいただきました。今回はその結果をご紹介します。

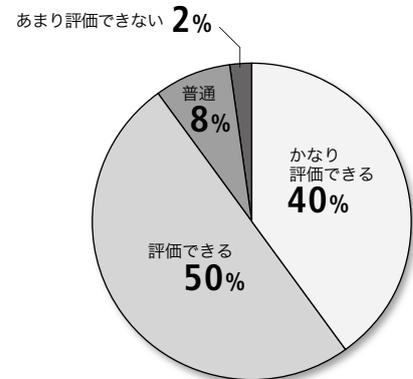
## 1 わかりやすさはいかがでしたか？



## 2 情報量はいかがでしたか？



## 3 当社グループの環境・安全・社会活動をどう評価されましたか？



## 4 印象に残った記事 ベスト5

1	太陽電池製造装置事業の展開に向けて
2	2015年の環境負荷半減に向けて
3	トップコミットメント
4	製品における環境への取り組み
5	事業所における環境への取り組み



環境・社会報告書を用いた、新入社員向けの環境教育を実施しました。

## 5 アンケートでの主なご意見、ご感想

- 社会における立場を良く理解しており、企業はどうあるべきかを考えていると感じます。企業の利益はもとよりですが、いかにして、社会貢献をするかを考えてください。投資家としては多角化経営はせずに貴社技術に特化した経営をお願いします。
- 2015年に環境負荷半減するという目標をかげられたことは非常に良い事であると思います。それを達成するためのマネジメント体制、できればロードマップも出されるとより現実味が増すのではないのでしょうか。今後生物多様性についてやTEL独自のユニークな取り組みが内容に取り入れられると良いと思います。
- 事業所における環境への取り組みの記事において、近隣住民の方や企業・行政の方などの人達に各事業所で行っている環境への取り組みに関する説明を行っている活動のトピックがあり、身近な範囲においても社会貢献を行っている姿を感じることができました。
- TELはB to B企業なので、この環境・社会報告書を読むのは社員や取引先の人が多いと思います。報告書には社員とのかわり・取引先とのかわりなど、メインのステークホルダーに向けた記事が充実していて良いと思いました。また、「2015年の環境負荷半減に向けて」という記事では製品のライフサイクルの環境負荷を各段階別に説明していて、半導体製造装置についてくわしくない人にもTELの製品づくりにおける環境への影響が分かるようになっていて良かったです。各ページに載っている排出量等のグラフでは、こまかく数年分のデータが載っており、経年変化が良くわかりました。
- 「持続可能な社会」大学の講義で印象に残っている言葉です。「社会が発展するためには、環境に負荷をかけてしまうのは仕方ない事」という風に決めつけず、少しでも一つの企業として地球環境に貢献するという事は素晴らしいと思います。特に東京エレクトロは、半導体という今の生活の向上には不可欠な物をつかっており、そのような会社がこのようにCSRを果たして世界を引っ張ろうとする姿勢は、とても好感がもてます。日本は特に環境への配慮が強い国であり、これからの世界を引っ張るべき国は日本であると感じます。私もTELパーソンの1人として、「持続可能な社会」に貢献できたらと思います。
- 2015年環境負荷低減という目標を定めて、製品使用時の省エネルギー化等に取り組んでいることを知り、私自身もたくさんの人の努力を見習い、またそれ以上にオフィスでの環境負荷低減に取り組んでいこうと思いました。機会があれば地域活動にも参加してみたいと思いました。

今後も社内・社外からいただいたご意見をもとに、環境・社会活動を進めてまいります。  
ご回答いただいた皆様、ありがとうございました。